

【泉区】令和6年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和6年9月6日 午前9時56分 ～ 午前11時15分
場 所	泉区総合庁舎4階4ABC会議室
出席者	【座長】 横山 勇太郎 議員 【議員：2人】 梶村 充 議員、麓 理恵 議員 【泉区：30人】 山口区長 金子副区長 羽田福祉保健センター長 柿沼福祉保健センター担当部長 斎藤泉土木事務所長 阿部泉消防署長 ほか関係職員
議 題	1 令和6年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況 2 令和5年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績 3 令和7年度泉区予算編成の考え方（案） 4 緑園義務教育学校（交通安全推進校）学区内における交通安全対策（ハード）について

1 令和6年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況

麓議員：南海トラフ地震臨時情報の発表、台風第7号及び10号の接近に伴う区災害対策警戒本部の設置、避難所の開設等への対応に感謝申し上げる。各地域防災拠点の訓練については、これまでもお願いしてきたところだが、今年度ようやく、区役所と地域防災拠点や関係機関等の連携状況を確認するため、同時訓練という形で実施することとなり、呼び掛けに多くの地域防災拠点が応じてくれて、良かったと思っている。訓練を通して見えた課題については報告してほしい。一方、同時訓練実施予定日の11月17日は、衆議院議員総選挙の投開票日になる可能性もあるが、選挙と重なった場合はどうするのか。

もう1点、18ページ「災害時要援護者支援事業」についてだが、今年、福祉避難所になる施設の訓練も行われると聞いている。訓練の目的及び方法を伺いたい。あわせて、28ページに「緊急時の支援」とある。親族からの支援が望めない高齢者の方々が、災害時の要援護者につながっていくと考える。区で把握しているこうした方々について、災害時の対応はどう考えているのか。

発言の
要旨

釜谷総務課長：このたび、多くの地域防災拠点にご参加いただき、「泉区地域防災拠点同時訓練」という新たな形での訓練が実施できる運びとなった。開催予定日の11月17日が投開票日と重なった場合は、日程を延期し、ご都合が合う地域防災拠点にご参加いただくことを、現時点では検討している。実施結果についてはご報告させていただく。

石田高齢・障害支援課長：福祉避難所訓練については、区と福祉避難所との連絡会を年に2、3回開いている。今年度は福祉避難所の関係者全員に集まっていたいただき、12月に訓練を予定している。高齢者・障害者施設等の方が、地域ケアプラザでの訓練を実際に見て、避難所運営の参考にさせていただくことを目的としている。

緊急時の支援とは、認知症などで緊急に入院となった場合に必要な物品を支援すること。必ずしも防災と直結するものではないが、防災に関する見守りについては、要援護者名簿に加え、今年度から全区で個別避難計画の策定に取り組んでいるので、それらを活用していく。

麓議員：これから実施されるさまざまな訓練のたびに、課題が整理されると思う。それらについてぜひ教えていただきたい。

資料8ページに、ゆめが丘ソラトス開業に伴い、都市整備局が交通量調査を行うとあるが、いつ頃、どのように行われるのか。8月中はかな

り道路が混雑していたと聞いた。地域の安全は大切なので、交通情勢について伺いたい。

また、ゆめが丘のスタンプラリーが始まった。ゆめが丘ソラトス周辺は、起伏がないわけではないが、自転車で巡ることもできるので、シェアサイクルが良いのではないかと思っていた。シェアサイクルはすでに設置されているということだが、自転車で巡るにしても、天王森泉公園でどのようなイベントが行われているか分かりづらい。

また、花が好きでいろいろな場所を巡る方も多い。天王森泉公園もとても綺麗に整備されているので、「花」というキーワードで、スタンプラリーに幅を持たせると良いと思うが、どうか。

丸山泉土木事務所副所長：交通量調査については、都市整備局が今年度内に実施すると聞いている。事前の交通量調査も行っていると聞いており、交通量がどう変化したかが定量的に見えると思う。

泉土木事務所では、平日午前、午後と毎日道路パトロールを実施している。ゆめが丘ソラトス開業後は、特に環状4号線で混雑が見受けられたこともあったが、それ以降は、渋滞が頻発した等の状況は把握していない。従前から、和泉坂上の交差点や、そこから北上した所にあるスーパーマーケットの駐車場付近が夕方に混雑することは把握しているので、引き続き、交通量の推移を注意して見ていく必要があると考えている。環状4号線だけでなく、並走する津村道路や、和泉川沿いにある和泉川側道などへも迂回する車が増えるかもしれないので、警察など関係機関と連携しながら、課題の把握や必要な対策を検討していく。

室町区政推進課長：ゆめが丘ソラトス近辺からシェアサイクルで天王森を巡ることについては、天王森泉公園の周辺への交通アクセスの方法が少ない点を考慮すると、ゆめが丘ソラトスのシェアサイクルポートも活用できるので、自転車による巡り方もPRしていきたい。

また、天王森泉館で行われるイベントも多くあるので、それらについて、スタンプラリーに併せて、SNSなどで相互発信したい。

「花」というキーワードについては、昨年度、GREEN×EXPOの機運醸成の一環で、相鉄沿線7区で冊子「花みどりスポット」を作成した。そういったものも活用しながら、なるべく多くの方に巡っていただけるよう工夫していきたい。

麓議員：交通量については、一時期、区役所前の道路も大変渋滞していたので、ゆめが丘ソラトスの開業は大きな影響があると思っていた。

資料 10 ページの「いっずんサポート補助金」について何点か伺いたい。まず、自治会町内会にどのように周知しているのか。また、さまざまな課題が出てきていると思うが、それらに併せた交付ができているのか。1 団体あたり決まった金額での交付なのか。現在、9 団体に交付決定しているということだが、どのような事業内容か、教えてほしい。

朝倉地域力推進担当課長：「いっずんサポート補助金」は、令和 5 年度からスタートしており、事前説明会などを行ったが、内容が分かりにくいという課題があった。今回、二次募集の実施にあたっては、対象事業についてより分かりやすくイメージできるように、募集要項に具体例を追加で記載したほか、地域の定例会等にも出向き、個別説明も実施した。対象団体については、既存の団体だけでなく、団体の中のおまつりやイベントの実行委員会なども対象としている。補助額については、自己負担も伴うため、事業に応じた額となっている。実績では、1 団体あたり、10 万円から 15 万円の間で設定している団体が多い。

二次募集では、12 団体が相談に来ており、今後、交付に向けた手続きを進めていく。

6 年度に採択した 9 件の主な概要は、こども食堂等をはじめとした多世代の居場所づくりの取組が 5 件、スポーツイベントや演奏会などの多世代交流・地域活性化の取組が 2 件、その他 2 件となっている。

麓議員：予算がなくなったら募集は終了となるのか。

朝倉地域力推進担当課長：できるだけ地域活動を応援できるようにしていきたい。「いっずんサポート補助金」だけでなく、コーディネーター派遣により地域課題の解決に取り組む事業や、区社協の補助金とも連携しながら進めている。

麓議員：多世代交流の活性化等は地域課題の解決に結びついていると思うが、おまつりの実行委員会への補助は、「地域課題解決補助金」という名称に対して若干の違和感がある。せっかく予算を組んだので、補助対象となる具体例をたくさん挙げて、しっかりと予算を使い切れるような事業にしていきたい。地域の方で、何かあればこの補助金を使える、ということになると良い。

梶村議員：「いっずんサポート補助金」は、1 つの事業について、3 年で一旦終了と聞いたが、継続して補助を受けられるのか。

朝倉地域力推進担当課長：5 年間で 3 回までという制限があるが、補助の必要性や交付の効果を検証し、補助金の指針とも照らし合わせながら、

地域活動を継続できるよう支援していくという姿勢で取り組んでいきたい。

梶村議員：泉区は「子育てしやすいまち」とPRしている。そのような中、夜間休日急患関係者の方々から挙がっている課題として、小児科の先生が3人しかおらず、非常にご苦労されているということがある。医療局や市大とも連携しているとは思いますが、区としても協力をお願いしたい。

岩井福祉保健課長：先日開催された地域医療促進会議でも、そのことは課題に挙がっており、区としても認識している。区民の方からも、いずみ野周辺に小児科がないとご意見をいただいている。医療局とも調整しながら、できることをしていきたい。

梶村議員：以前から話をしている請願道路周辺の渋滞については、道路局とも相談しながら対応を進めてほしい。

丸山泉土木事務所副所長：ご指摘の箇所については、以前お話しいただいたあと、警察に相談したところ、警察が信号の運用を変更して、今年の3月から青信号の時間が長くなっている。現在、経過観察中であり、交差点の混雑状況の確認と必要な対策を検討していく。

2 令和5年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績

特になし

3 令和7年度泉区予算編成の考え方(案)

麓議員：資料に「令和6年度は、ゆめが丘ソラトスが開業し、区内に新たなにぎわいの核が誕生しました。」とある。当初、約5,200人を呼び込む街になるということだったが、その見込みは変わっていないか。また、ゆめが丘周辺は古くから地域のつながりが強いので、新しく転入してくる方たちと連携したまちづくりが必要だと思う。区として、新しく転入してくる方たちと既に住んでいる方たちとの関係づくりについて、考えていることがあれば伺いたい。

室町区政推進課長：約5,200人というのは開発当初の計画人口であり、それについては変更がない。ゆめが丘地区への転入者の状況については、すでに約700人が転入してきている。今後も集合住宅の建設が進み、人口が増えていくことが見込まれる。

山口区長：ゆめが丘地区は、自治会町内会が空白となっている地区であり、現在、自治会町内会について議論している。新しい住宅の分譲が始まり、新しい住民の方も増えていくわけだが、令和8年度に迎える区制40周年をきっかけに、地域の一体感を出すことを考えていきたい。

梶村議員：花博のホームページに交通体系について記載があり、その中でいずみ中央駅や立場駅についても触れられている。環状4号線を通して瀬谷まで続く新しい道路は、地域にとって大きな影響があると思う。区制40周年に向けて、大きな交通体系の流れをよく考えてもらいたい。

また、戸塚区の前宿地区や小雀地区の住民の方々の行動範囲が変わってきているようだ。以前は戸塚駅周辺や藤沢に行っていたが、今は環状4号線でゆめが丘ソラトスに行くことができる。家族で映画を観るためにゆめが丘ソラトスに出かけるなどの流れが出てきているようだ。環状4号線は郊外部のネットワークの核になりつつある。区制40周年に向けて、大いにアピールしてほしい。

山口区長：ご指摘のとおり、環状4号線は郊外部の核となる交通アクセスになっている。これまで、都市計画の上位方針や市街化区域への編入の考え方の中には「幹線道路沿道」という言葉は入っていなかったが、今回の改定でまちづくりの機運が高まってくれば、主要な幹線道路沿道についても、地区計画等の規制と併せて市街化編入を検討する方向となっている。農とバランスをとりながら、まちづくりを進めていければと考えている。

梶村議員：市のマスタープランは来年改訂される予定だが、その後は区のマスタープランの改定に取りかかると思う。そういったタイミングも捉え、考えていってほしい。

横山議員：年々、夏の気温が上がってきている。次年度予算編成の考え方の中に、暑さ対策に関することを入れたほうが良い。区だけでできることがないかもしれないが、地域の方々に向けてメッセージだけでも検討してほしい。

山口区長：前回会議で、公園での暑さ対策についてのご指摘もいただいた。最近の暑さは異常なので、区で何ができるかということもあるが、暑さ対策が大切だというメッセージだけでも考えていきたい。

横山議員：今年7月、8月の消防の緊急出動状況について伺いたい。

堀田泉消防署副署長：今年も暑かったため、救急の搬送件数は、昨年と同様の傾向があり、7月、8月とも気温の上昇とともに増え、市全体で1

日あたり大体 800 から 900 件超となった。現在は気温も下がってきているため、600 件程度で推移している。

横山議員：コロナが 5 類になって以降、現在の状況はどうか。

岩井福祉保健課長：5 類になって以降、区に報告されるのは、高齢者施設等のハイリスクの方の分のみとなっている。そのため全体数は把握していないが、衛生研究所によると、7 月は非常に発生件数が多かった。現在は少しずつ下降線をたどっているが、学校の夏休みが明けるため、下がり具合が鈍化することが予想される。この夏、区が対応した案件では、高齢者施設、病院などの集団発生が 7 件ほどあった。その他にも手足口病や、腸管出血性感染症など、特に感染症の発生が例年より多くなっている。

横山議員：コロナも発症すると高齢者の方々にとっては相当厳しいのではないかと。次年度に向けても、あらためての啓発や、手指消毒などの取組をお願いしたい。

4 緑園義務教育学校(交通安全推進校)学区内における交通安全対策(ハード)について

麓議員：資料中、対策内訳として複数項目記載されているが、これにかかる予算額を教えてください。

丸山泉土木事務所副所長：約 6,000 万円を予定している。

麓議員：緑園学園は交通安全推進校に指定されているので、さまざまな調査をしながら対策を行っている。泉区内の古い学校の周辺は、道路が狭く、まっすぐではない箇所がたくさんある。それぞれの学校の要望に全力で応えてほしい。

5 その他

特になし。